
人工物工学における価値創成 研究の進め方について (第2報)

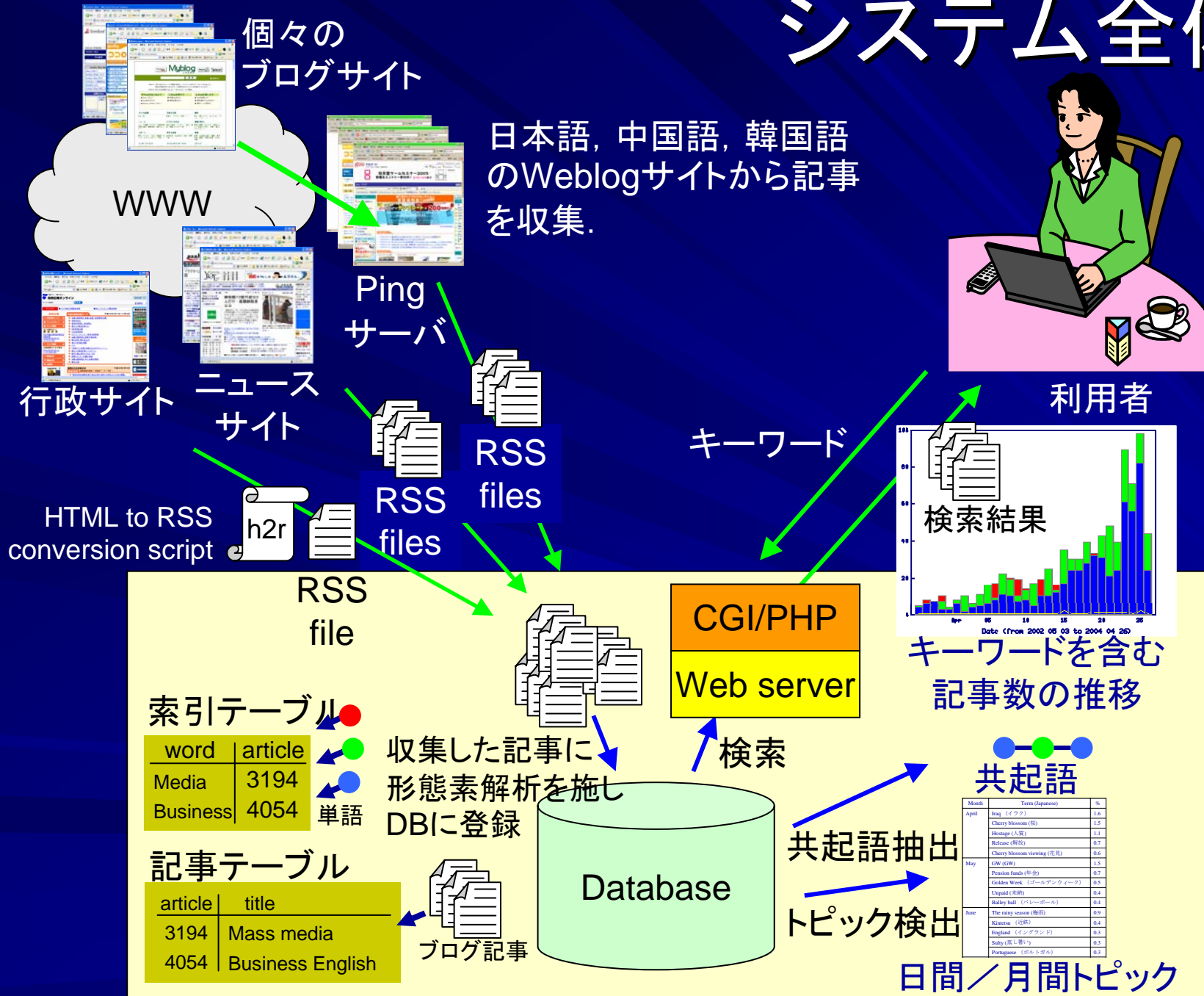
東京大学人工物工学研究センター
福原知宏

2007年10月10日(水)
第4回人工物工学研究センター研究発表会にて発表

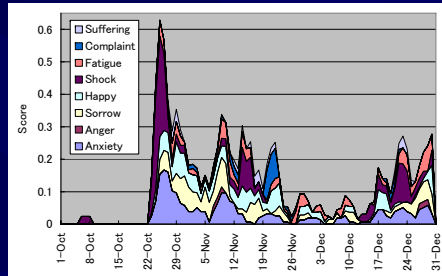
はじめに

- 人工物工学における価値創成研究の取り組み状況について報告する.
 - 映画を題材とした価値創成研究の状況について報告する.
 - 自己紹介も兼ねてこれまでの研究についても報告する.
-

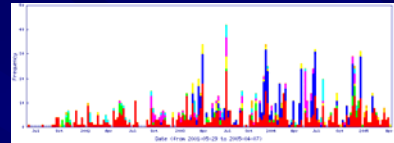
システム全体像



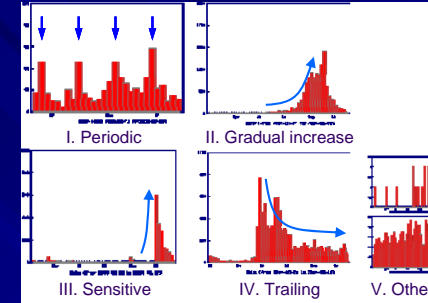
関心に対する視点



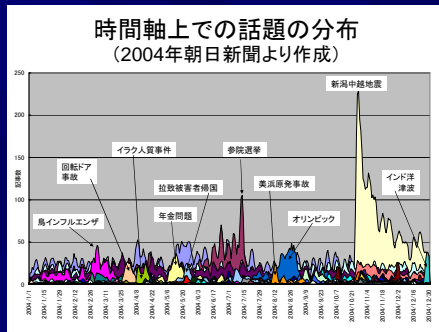
感情に注目した分析



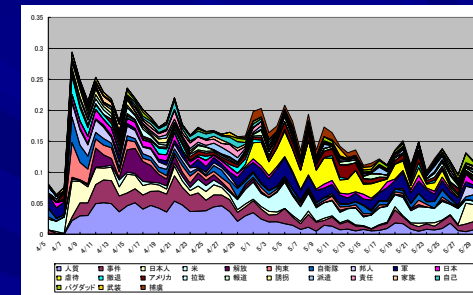
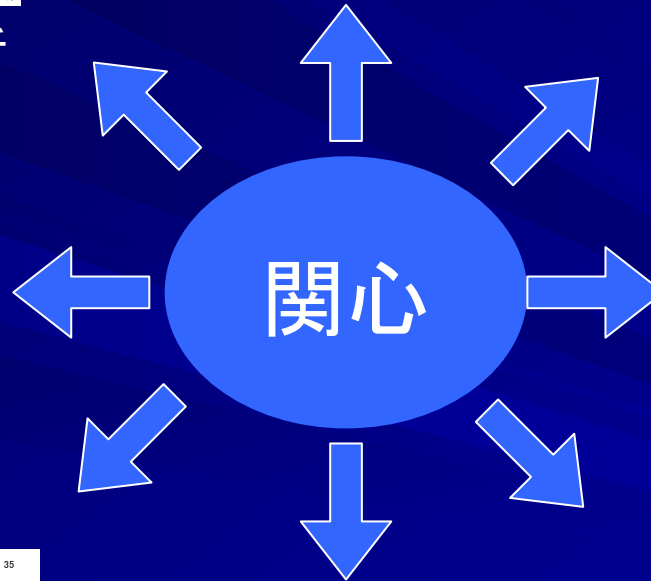
個人(キーパーソン)の関心



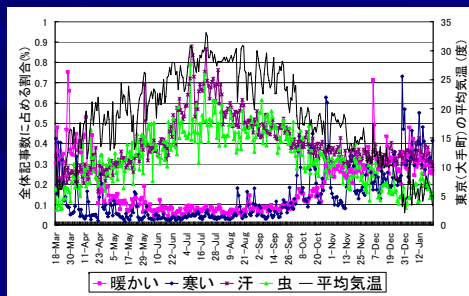
社会の関心



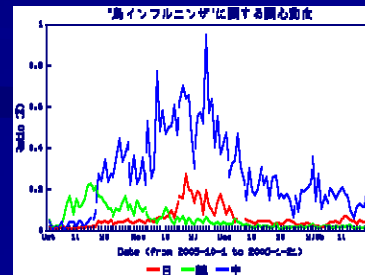
話題の自動検出



共起語を用いた
話題の焦点に関する分析



実世界データとの関連



海外の関心との比較

TODO

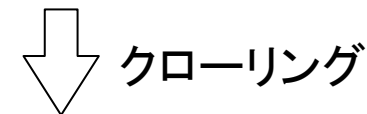
- 新聞, テレビ, 雑誌との比較
- 個人属性との関係
- (年代, 性別, 住所...)
- コミュニティ単位での分析

映画を題材とした価値創成研究

- 映画を題材とする
 - 何故、映画か？
 - 重要な娯楽産業の1つ
 - 人々のライフスタイルとも密接に関連
 - 価値創成研究
 - 現在の人々のライフスタイルを考慮した新しい映画サービス(価値の創出)の提案が出来れば良いのではないか.
-

映画レビューの分析: Yahoo!映画を対象として

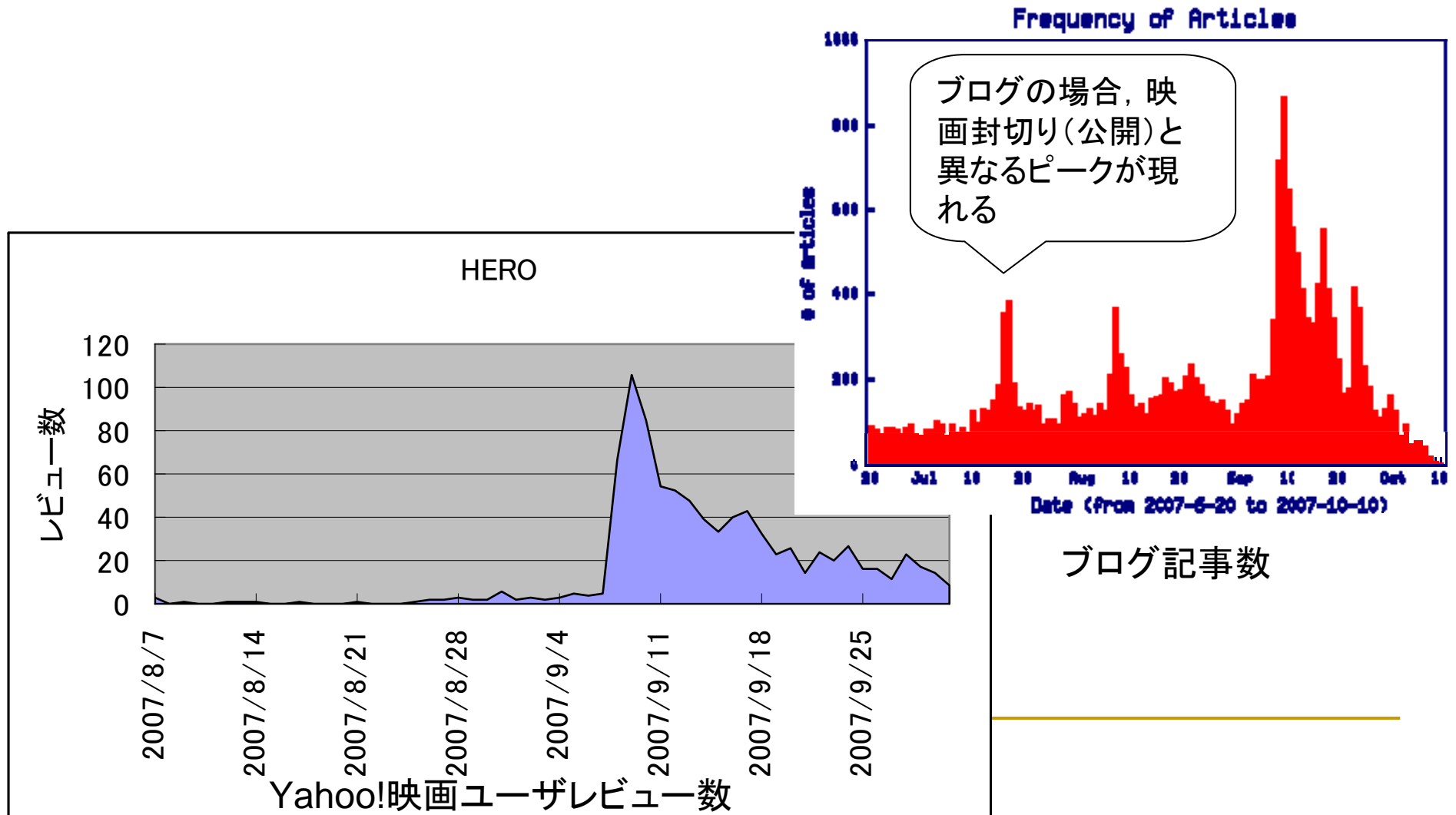
- 目的
 - 人々の映画に関する関心を探る
- 方法
 - Yahoo!映画のユーザーレビューのデータを収集
 - 日付
 - ユーザID
 - コメントタイトル
 - コメント本文
 - 得点(5段階評価)
- 分析の観点
 - レビュー数
 - 得点数
 - ブログデータとの比較



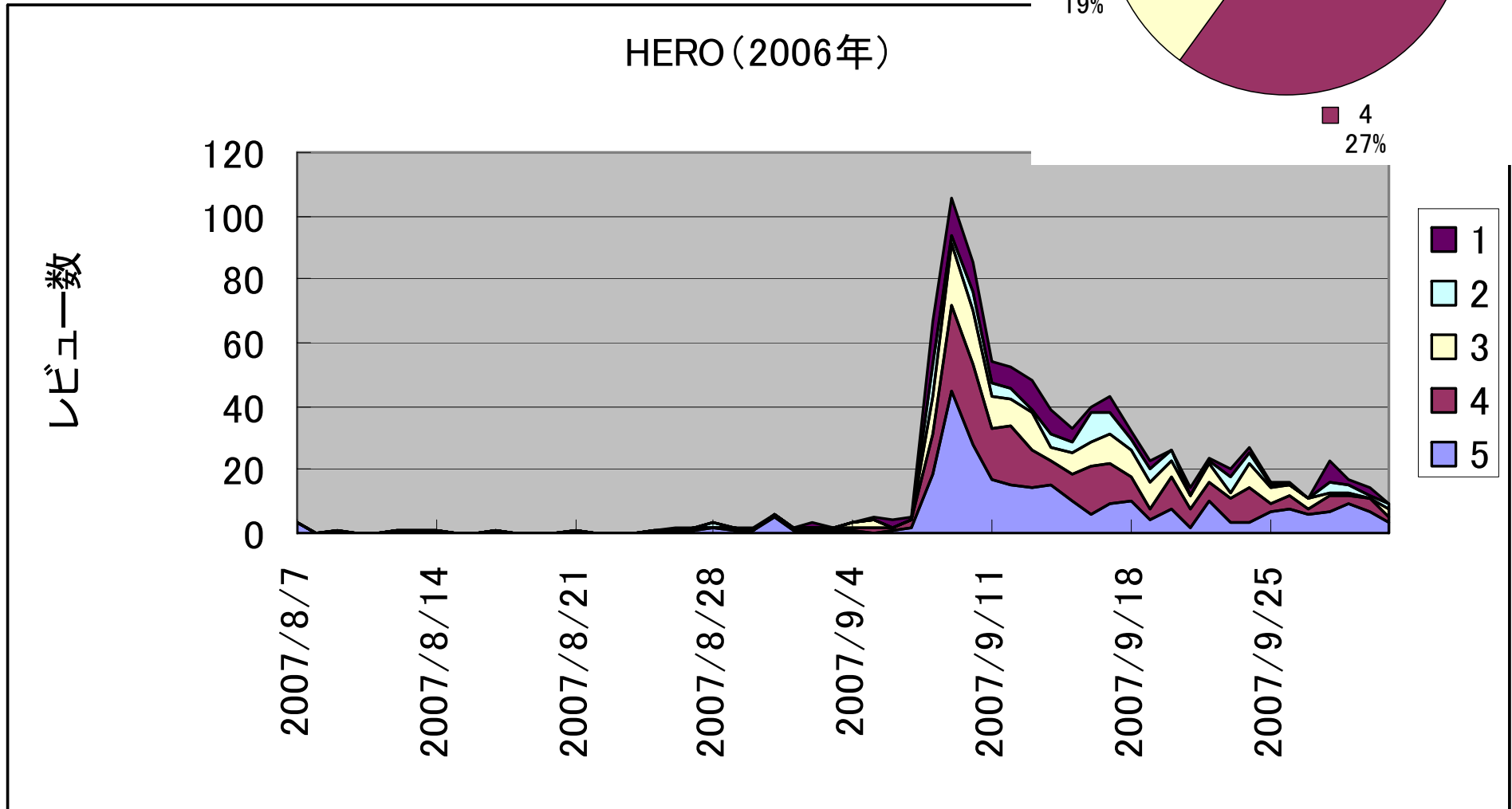
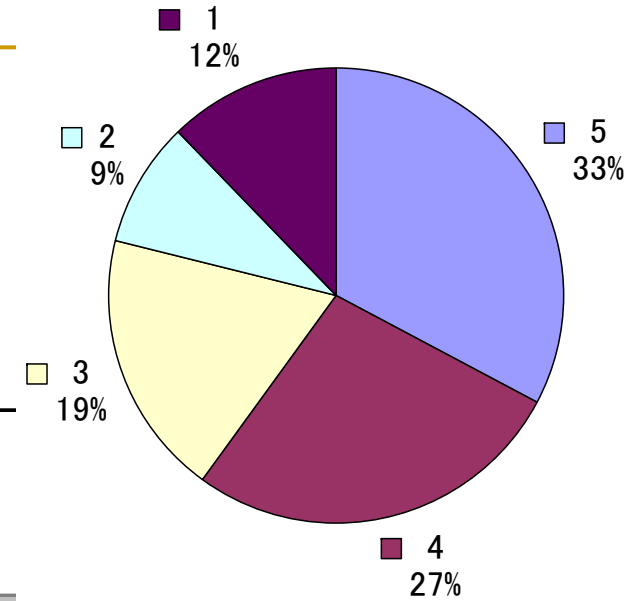
映画レビューデータ

『HERO(2006年)』

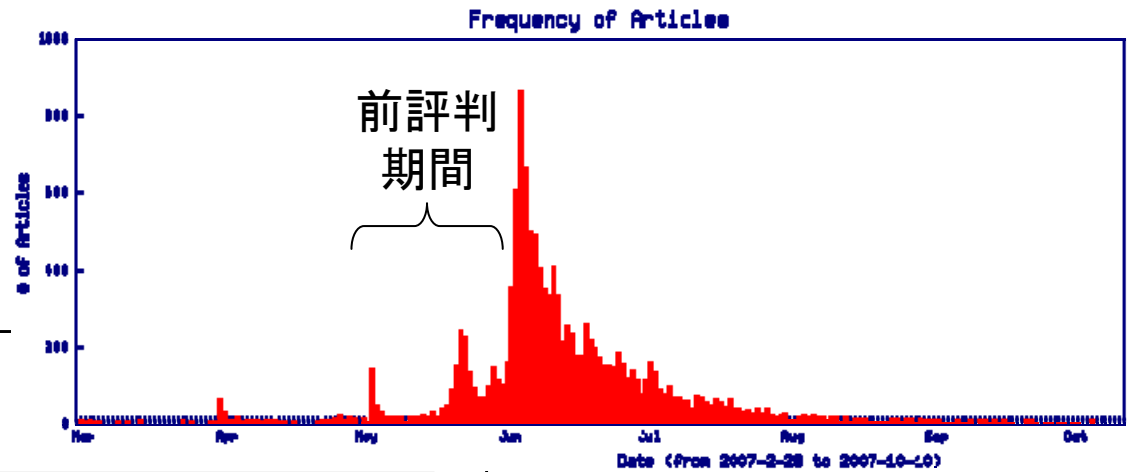
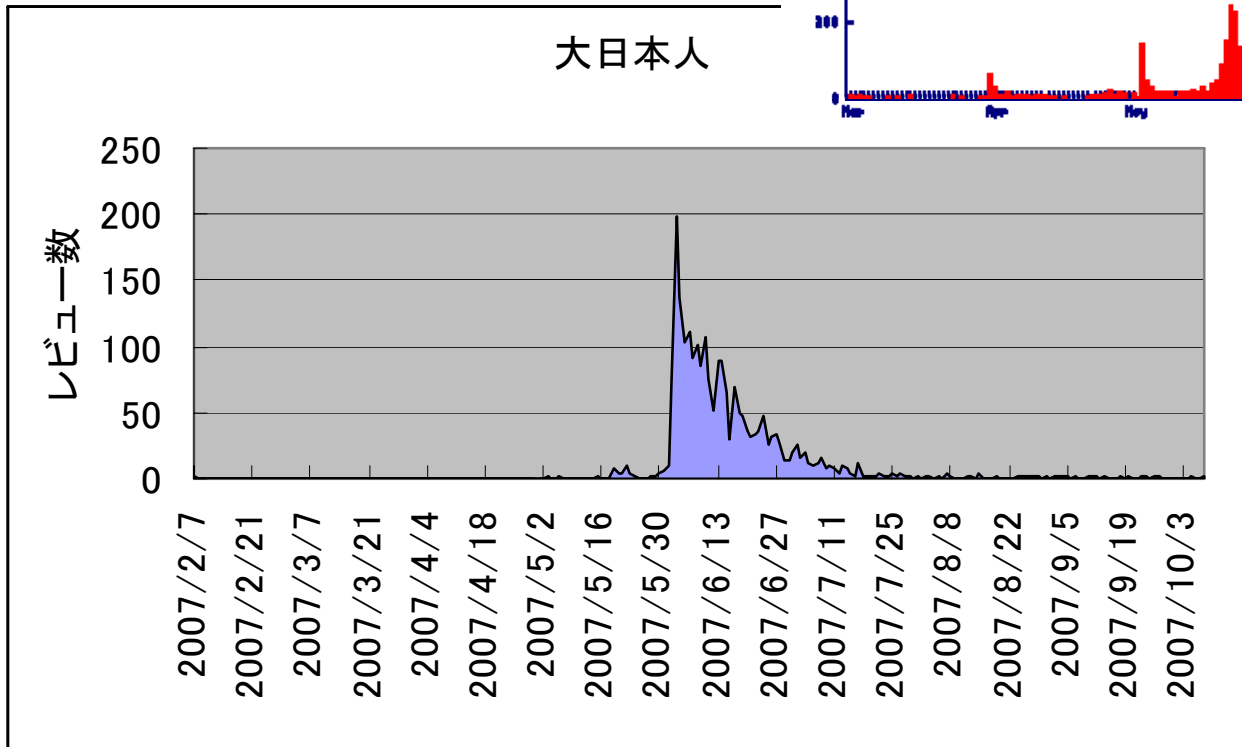
に対するレビュー数推移



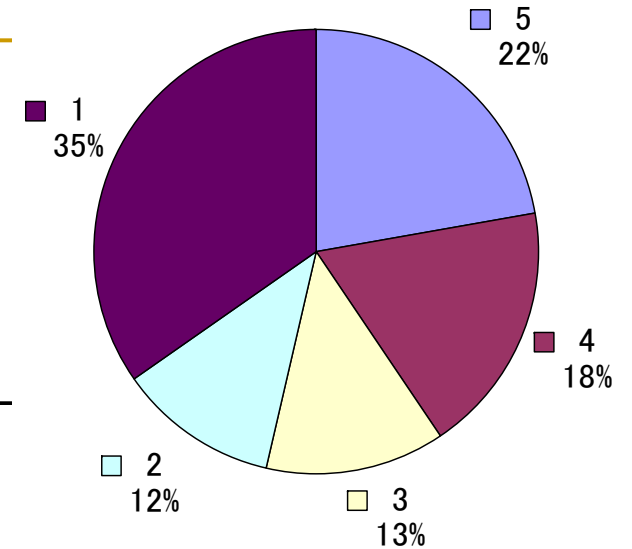
『HERO(2006年)』 に対する得点推移



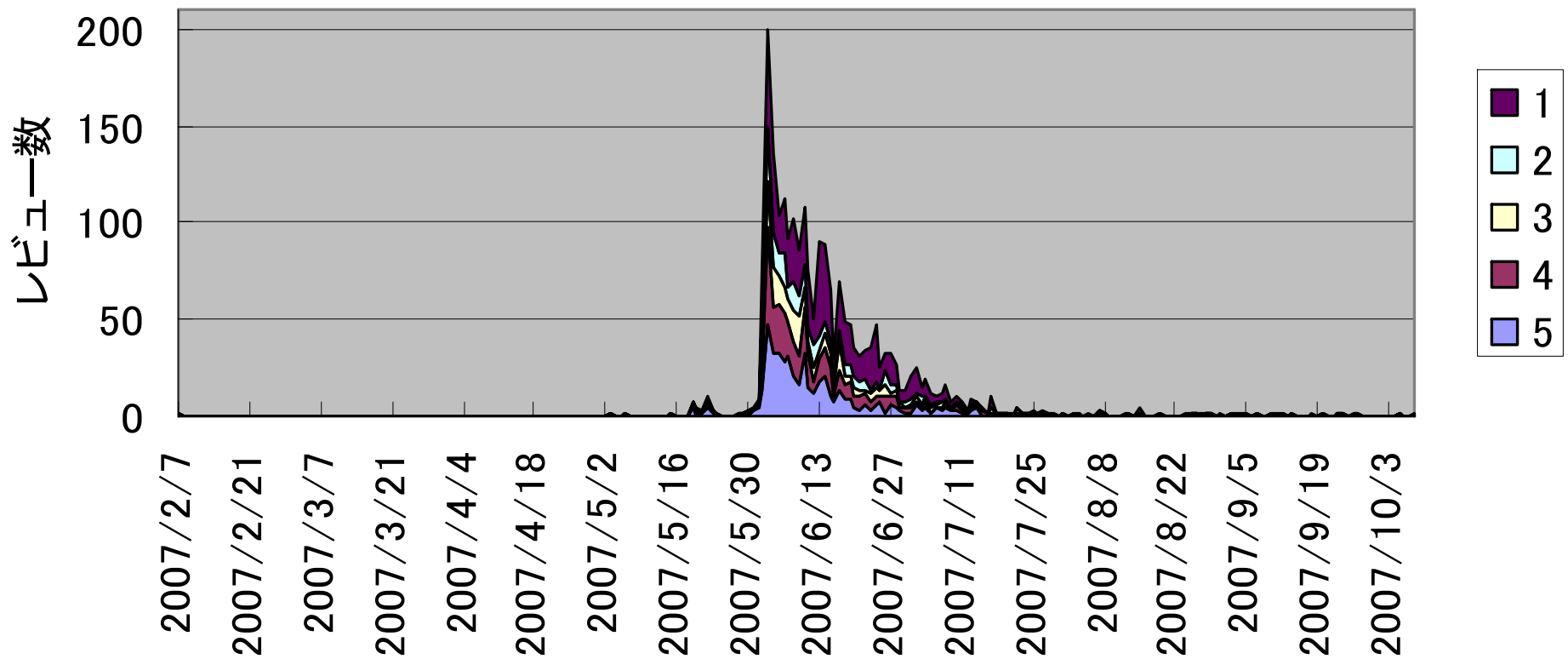
『大日本人(2007年)』 に関するレビュー数推移



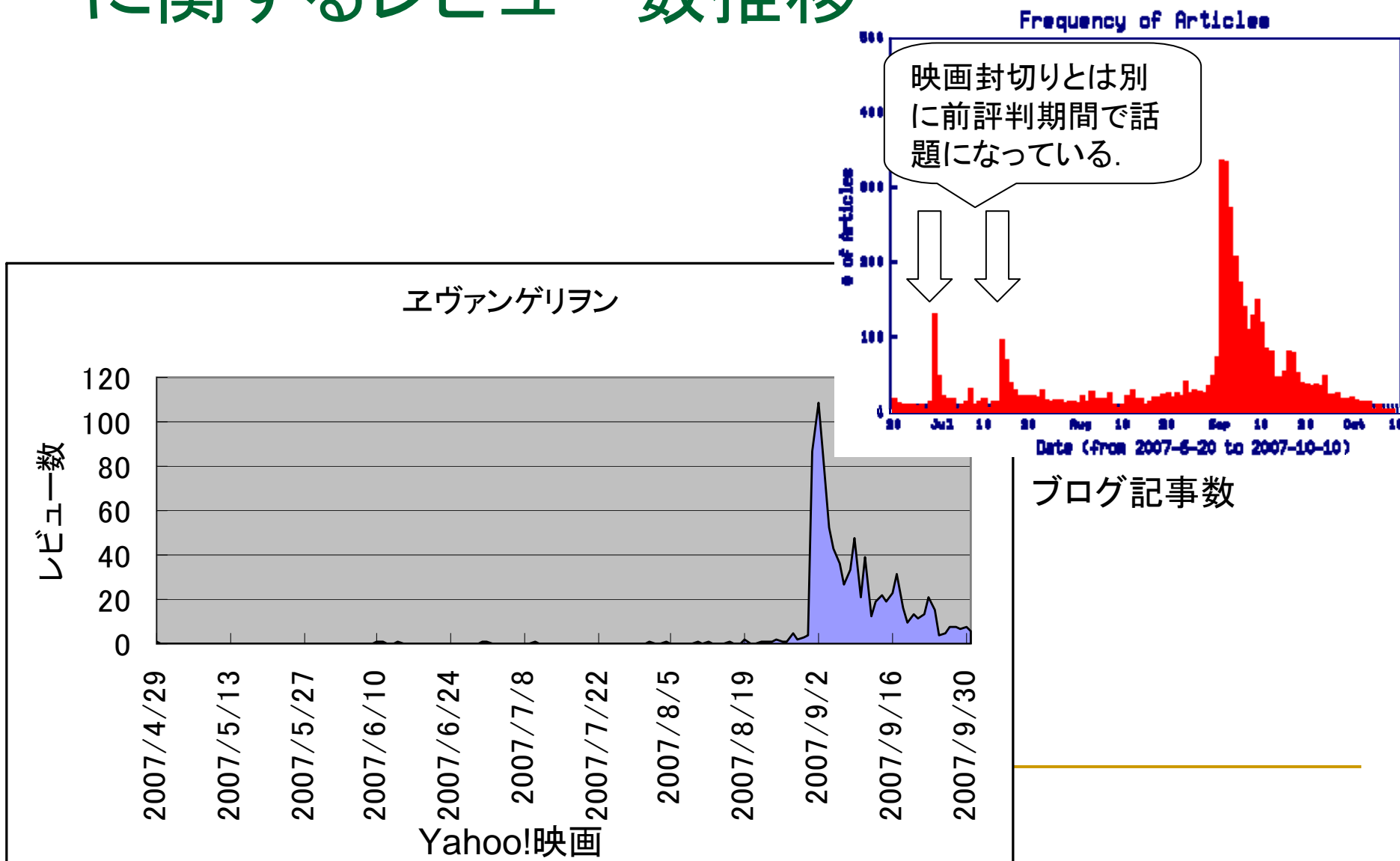
『大日本人(2007年)』 に対する得点推移



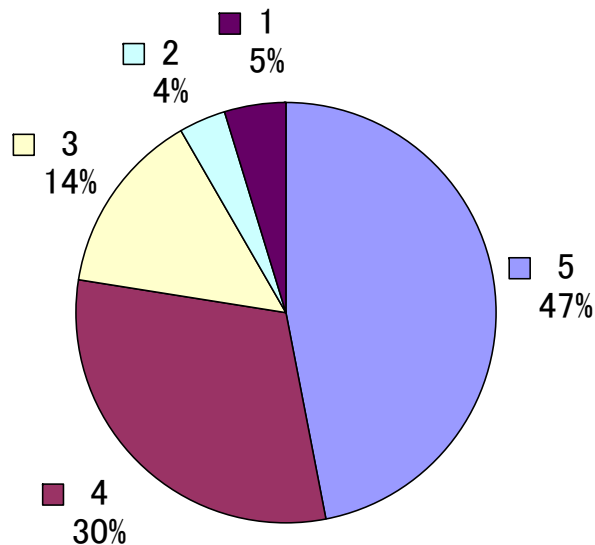
大日本人



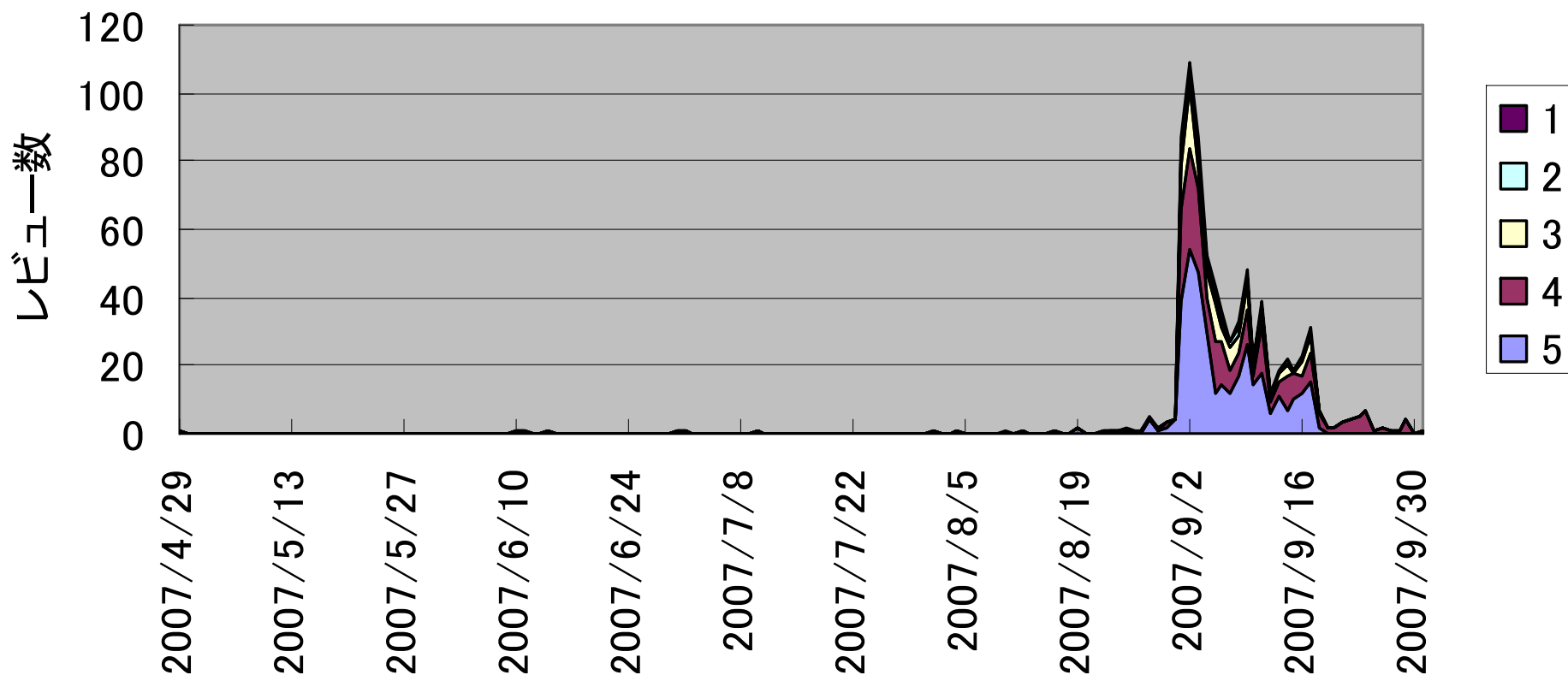
『エヴァンゲリオン(2007年)』 に関するレビュー数推移



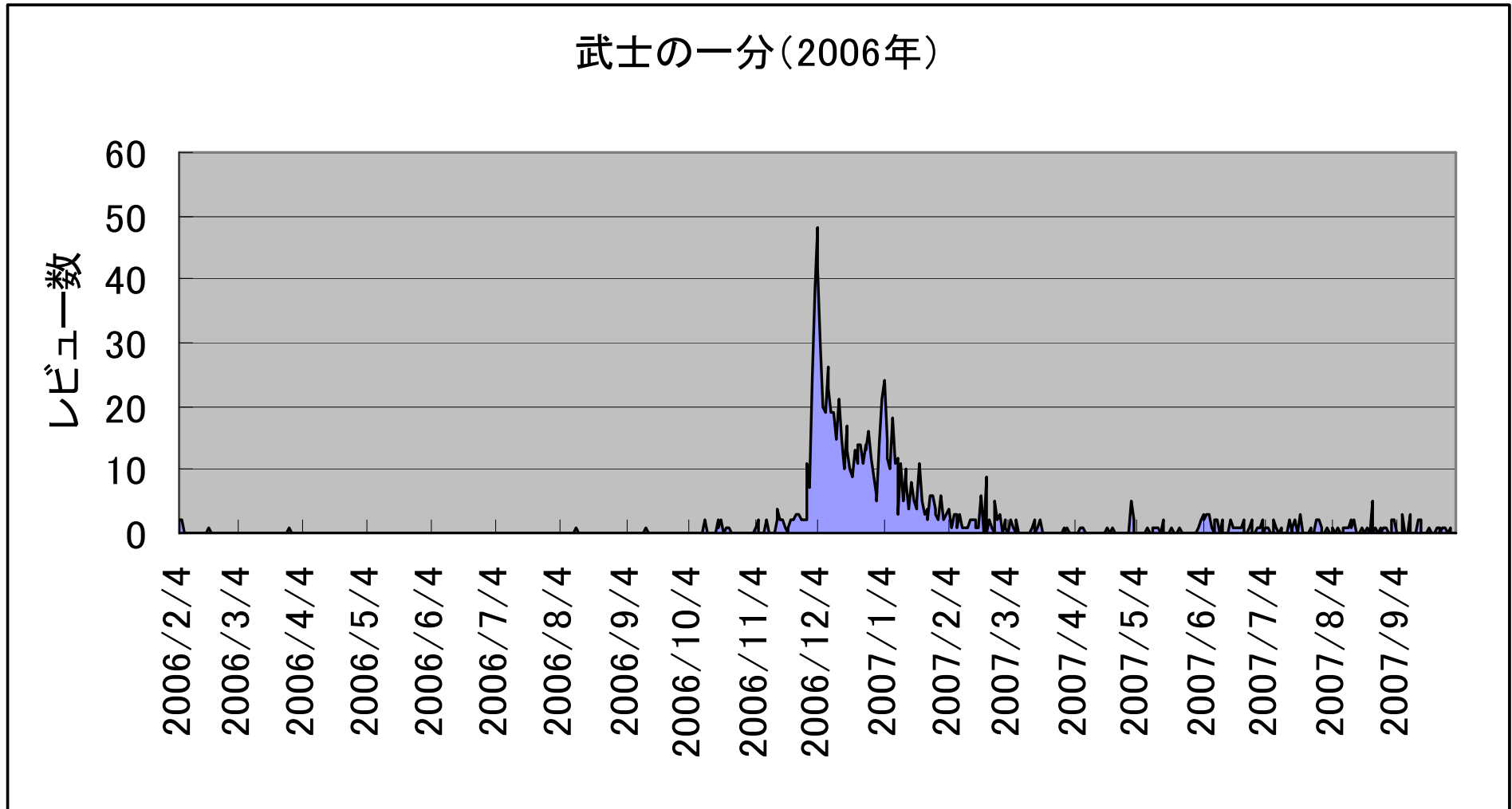
『エヴァンゲリオン(2007年)』 に対する得点推移



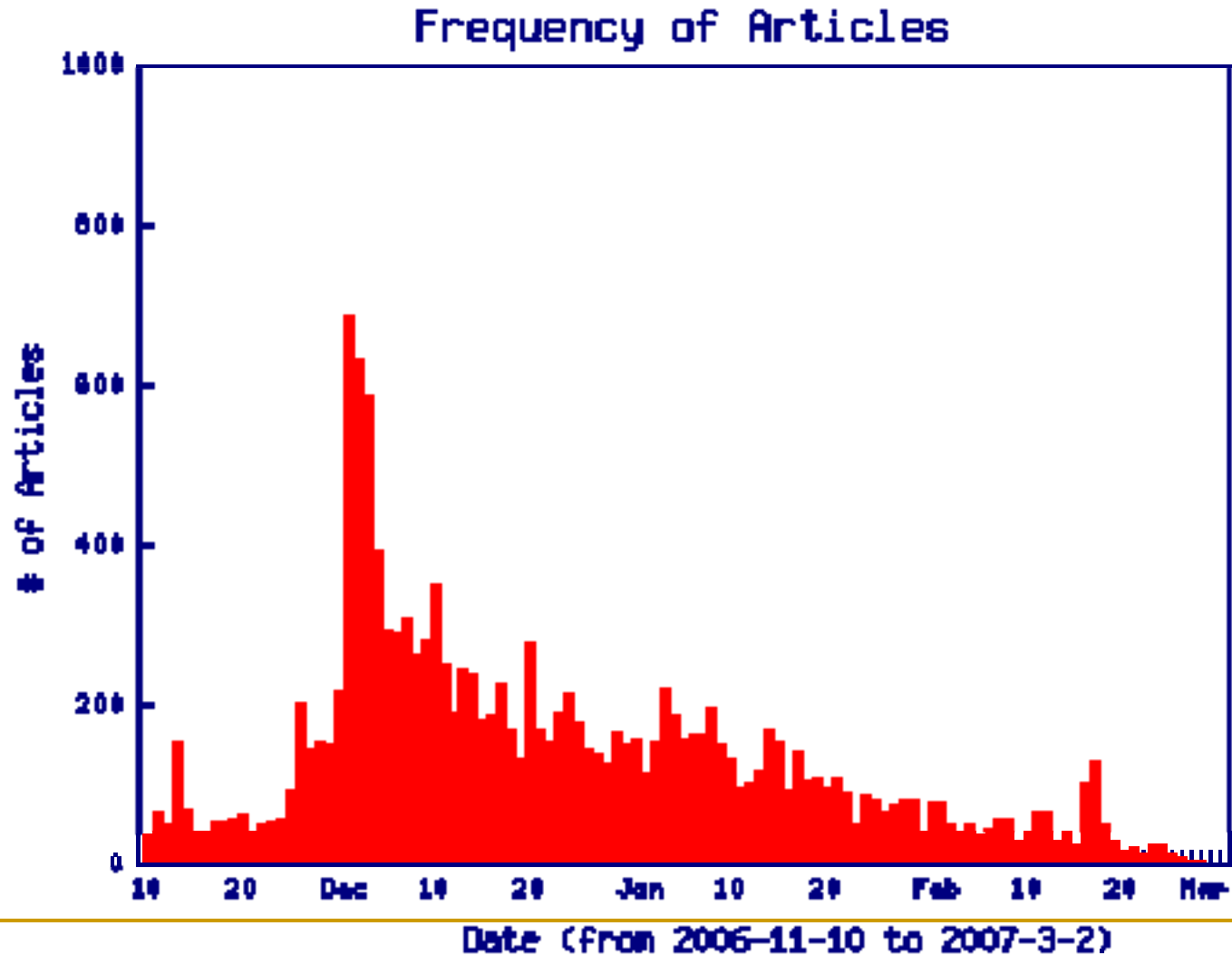
エヴァンゲリオン(2007年)



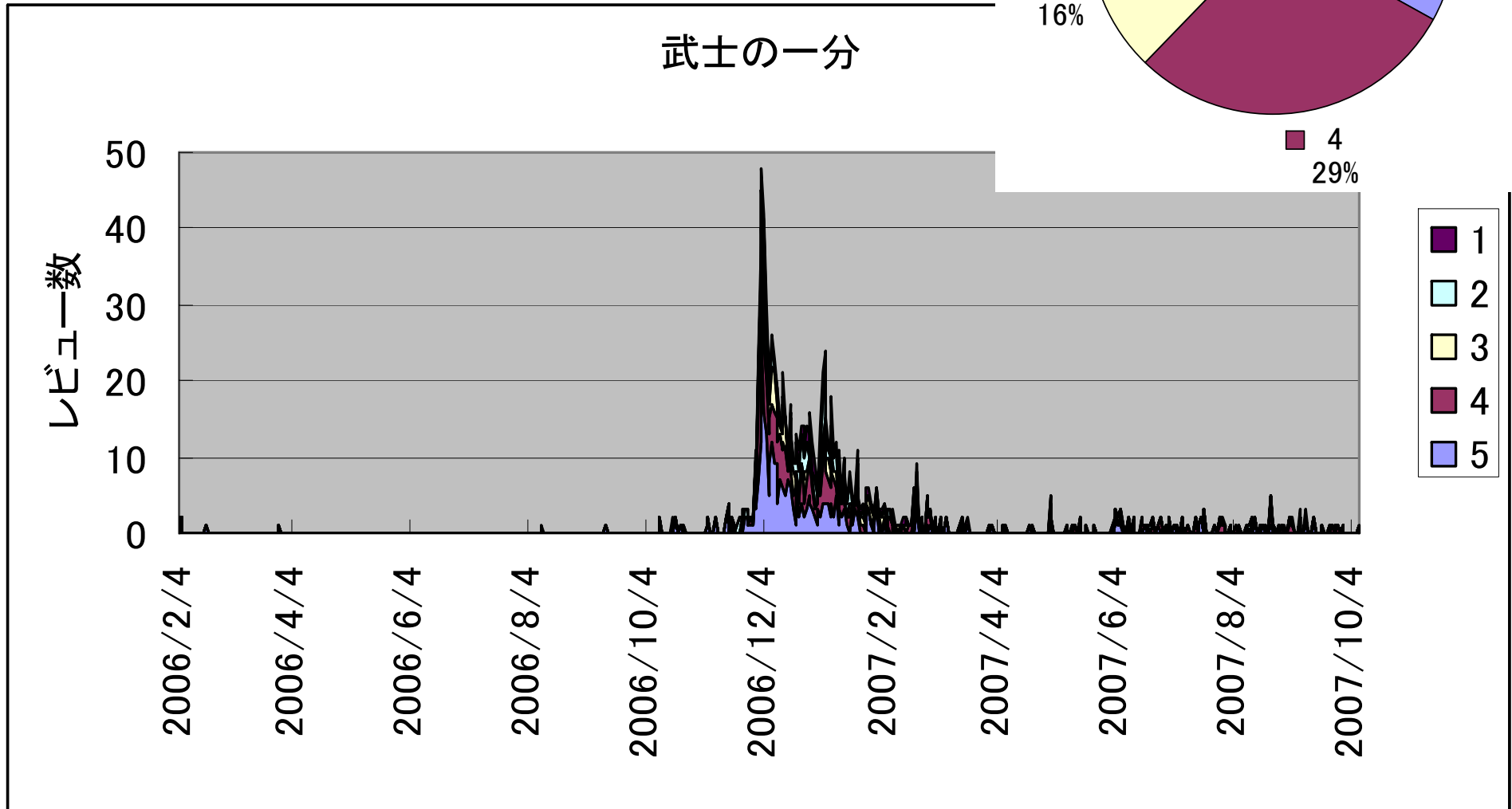
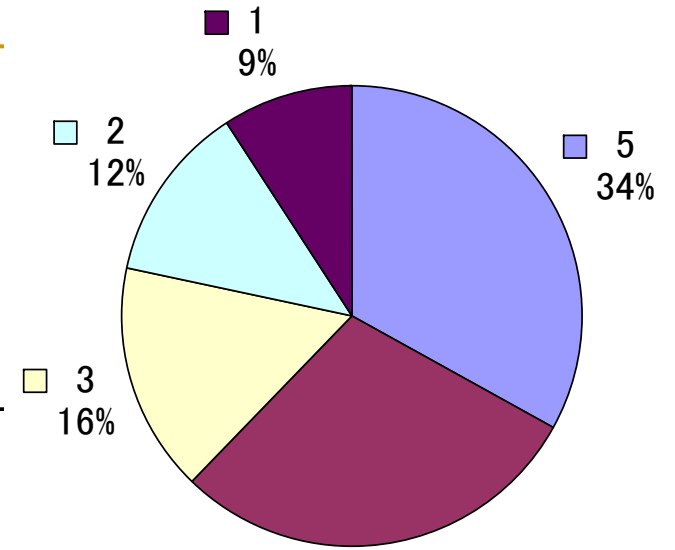
『武士の一分(2006年)』 に関するレビュー数推移



ブログ記事数の推移(武士の一分)



『武士の一分(2006年)』 に対する得点推移



まとめ

- 映画を題材とした価値創成研究の取り組みについて報告した.
 - Yahoo!映画データとブログデータを用いたレビュー分析について述べた
 - RACE内連携的研究が重要
 - 価値創成研究として一緒に取り組みませんか？
-